社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和05年01月27日

計画の名称	歴史と文化が薫るまちづくり整備事業（本寺地区）（第２期）														
計画の期間	令和０５年度　～　令和０９年度　(5年間)											重点配分対象の該当			
交付対象	磐梯町														
計画の目標	本寺地区は平成２８年１月、「歴史的風致維持向上計画」に認定された重点地域である。 磐梯町固有の歴史的風致の維持及び向上を図り、地域に残る歴史的・文化的資源を活用したまちづくりを進めている。 合わせて、歴史・文化を活かしたまちづくりを推進し、交流人口の誘導と地域の活性化を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	114	A	114	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和5年	令和7年	令和9年
1	区域内の観光誘客率			
	街なみ環境整備区域内の主要な観光施設の入込客数 （観光入込客数・千人）＝（9千人/年（R5年））から（15千人/年（令和9年））	9千人	11千人	15千人
2	区域内における建物等の修景率			
	まちなみ協定区域内の修理・修景棟数 （修理・修景実施率・%）＝（修理・修景件数）から（景観協定区域内の対象件数（75件））	10%	15%	20%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

案件番号：　0000455980

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	磐梯町	直接	磐梯町	－	－	街なみ環境整備事業（本寺地区）	歴史的風致形成建造物（調査・設計）	磐梯町	■	■	■	■	■	16	1.06	－
	A16-002	住宅	一般	磐梯町	直接	磐梯町	－	－	街なみ環境整備事業（本寺地区）	歴史的風致形成建造物の修理支援	磐梯町	■	■	■	■	■	58	1.06	－
	A16-003	住宅	一般	磐梯町	直接	磐梯町	－	－	街なみ環境整備事業（本寺地区）	区域の修景支援	磐梯町	■	■	■	■	■	40	1.06	－
											小計						114		
											合計						114		

案件番号： 0000455980

事前評価チェックシート

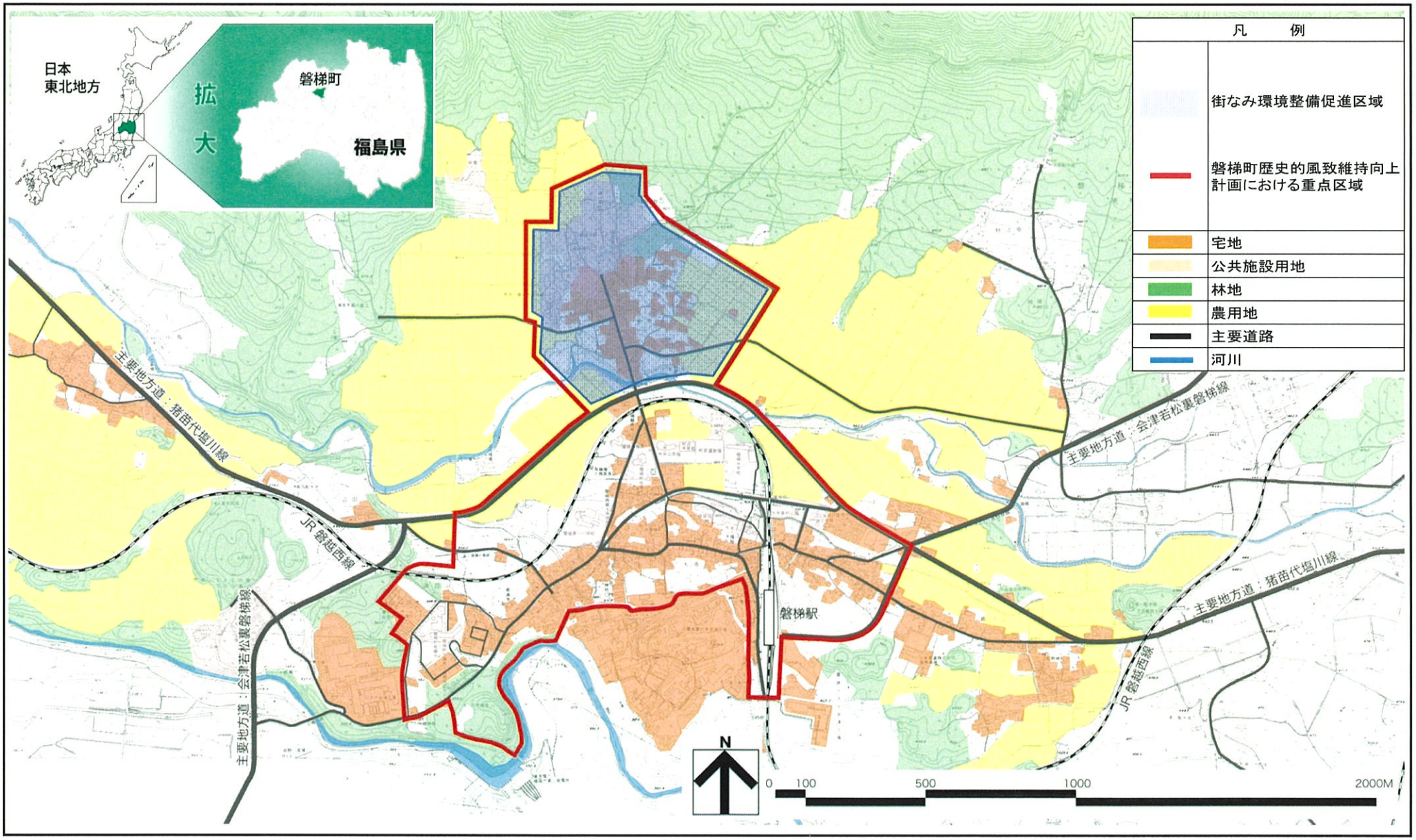
計画の名称： 歴史と文化が薫るまちづくり整備事業（本寺地区）（第２期）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①街なみ環境整備事業との適合等　１）まちづくりの目標が街なみ環境整備方針と適合している。	
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意　１）まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意　２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意　３）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　３）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

案件番号：0000455980

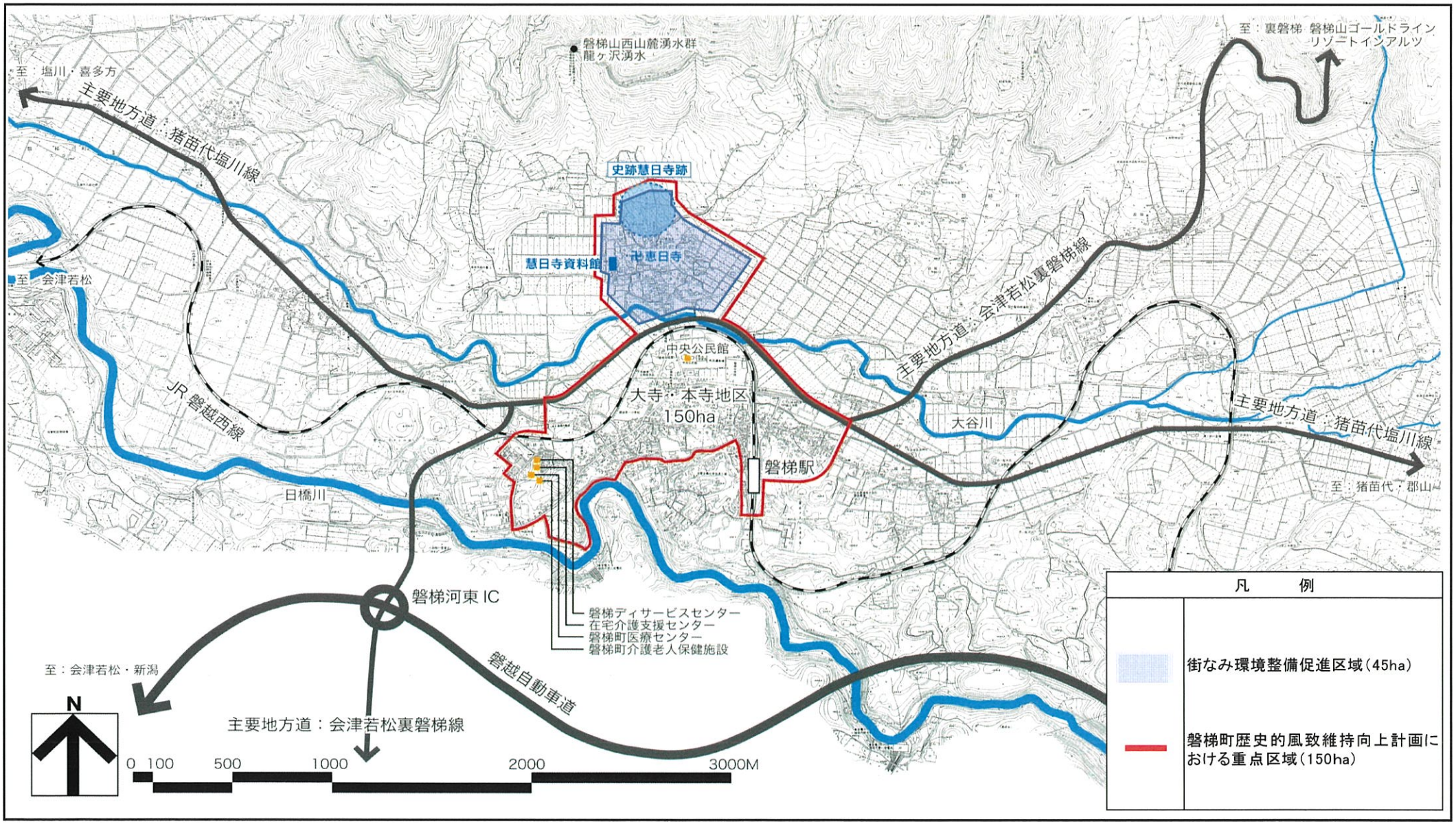
【位置図】

街なみ環境整備促進区域【磐梯町本寺地区】



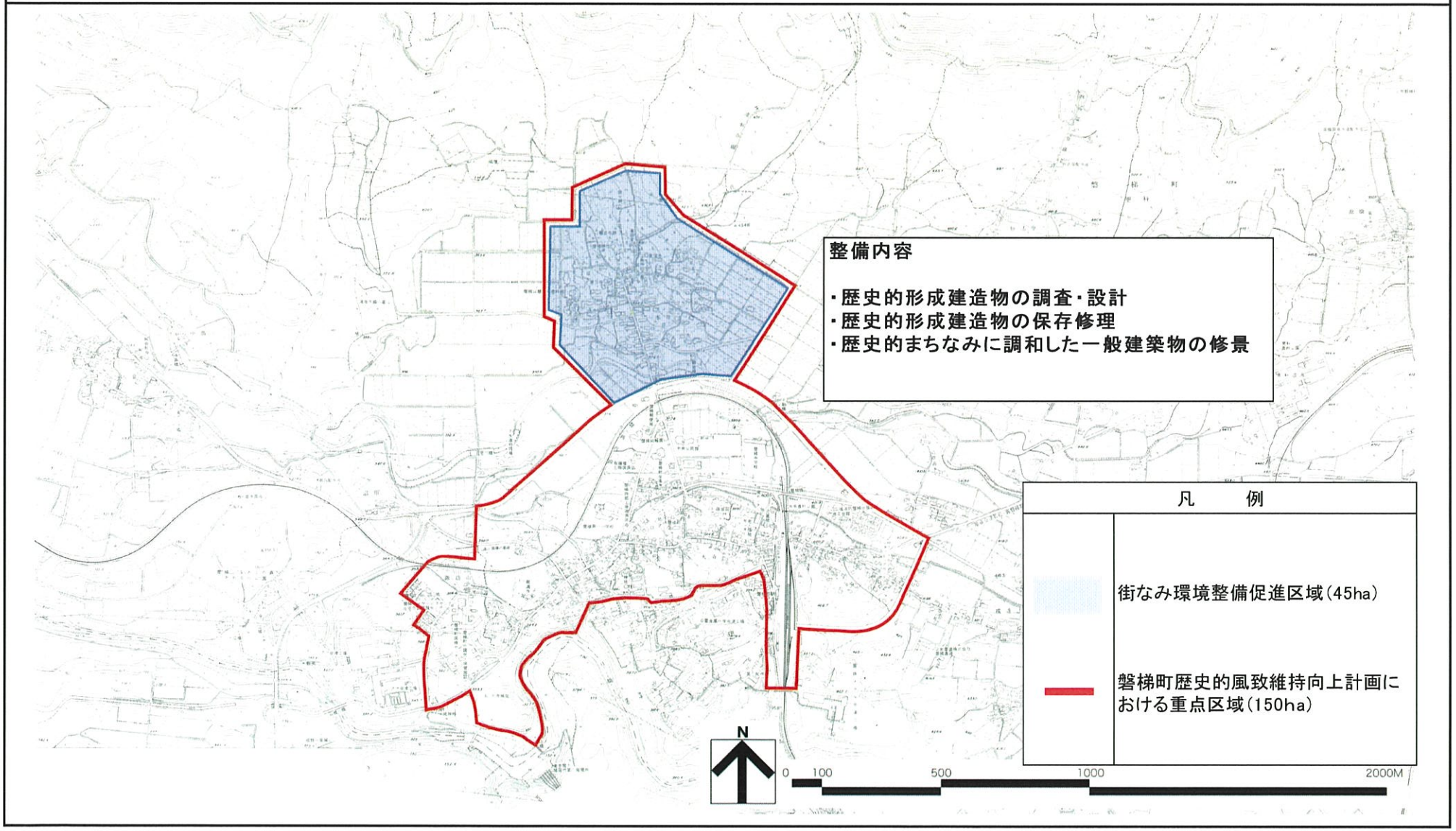
【計画区域図】

街なみ環境整備促進区域【磐梯町本寺地区】



【整備方針図】

街なみ環境整備促進区域【磐梯町本寺】



街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	福島県	市町村名	磐梯町	区域名	本寺地区

区域現況	区域の状況		・国指定史跡である慧日寺をはじめ、歴史的価値のある建物群が存在する本寺地区を対象とし、区域面積は45haである。 ・平安初期に開かれた慧日寺の参道沿いに、門前集落として形成されたのが始まりで,中世に製作された「絹本著色恵日寺絵図」には、門前の南北に延びる参道沿いの両側に、軒を連ねた門前集落の町並みが描かれており、時代が下がっても変わることなく一本の参道を形成しています。しかしながら、住民高齢化による空き家の増加や、歴史的建造物の老朽化などにより、良好な街なみ景観の保全が課題となっている。
	道路の状況		・区域内の主要道路すべて町道であり、幅員4メートルに満たない狭小道路も多い。電柱の地中化を含む美装化も行われていない。 ・一部、慧日寺周辺の道路整備（参道整備）を行っており、カラー舗装による円滑なアクセス誘導を図っている。
	公園等の状況		・区域内には農村公園1ヶ所のみであり、オープンスペースに乏しい。
	地区住民のまちづくり活動の概要		・山神社祭礼といった地域の祭りがコミュニティ形成の大きな役割を担っている。 ・現時点で地域住民で組織する団体は無いが、地区住民に対し景観まちづくりに関するワークショップなどを通じて、街なみのルールづくりなど、気運の醸成を図っている。
区域の整備に関する基本計画	整備の目標		・平成28年1月に国の認定を受けた磐梯町歴史的風致維持向上計画に基づく修理・修景事業に取り組み、磐梯町で培われた歴史や文化、習わし等を引き継ぎ景観形成に努めるもの。また、関係機関と連携して周辺環境の整備を行い、積極的な公開・活用を行うことで歴史的風致の維持向上や地域活性化を図る。
	整備の時期		・平成30年度～平成34年度（5年間） 磐梯町歴史的風致維持向上計画の整備期間：平成28年度～平成37年度
	地区施設等の整備に関する基本事項	道路等	—
		小公園	—
		その他	—
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	・平成29年3月に策定した本寺地区景観形成ガイドラインにより本寺地区の景観形成基準による誘導を図り、地区全体の歴史的風情を醸し出す環境整備に努める。 ・地区内の歴史的風致形成建造物に対する修理、既存及び新築建築物について、外観に係る費用の補助を行う。
		敷地	・連続した街なみを形成するため、建築物の修理と併せた車庫や門、塀、石垣の修景により、本地区の歴史的まちなみに配慮したものへと誘導する。
	その他の事項		上記に係る具体的事項やその他の事項について、磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会（平成26年11月）、本寺地区景観形成ガイドライン（平成29年3月）等による。